



たばたあずみ  
TEL・FAX 550-6674



山根とみえ  
TEL・FAX 550-4224



戸沢ひろゆき  
TEL・FAX 558-9721

12月市議会 **「るのバス」 介護保険 国保値上げ反対**  
**市民の願い 実現に奮闘する日本共産党市議団**  
**背を向ける自民党・公明党・保守系議員**



12月市議会に、日本共産党市議団は「特定秘密保護法案の廃案を求める意見書」を提出、市からは国民健康保険税値上げの条例が提出されました。また、市民から「るのバス」の改善を求める陳情、介護保険制度改悪に反対する陳情、ミゾコイ保護に関する陳情など4本の陳情が提出されました。市民の切実な願いである「るのバス」・介護保険の陳情も自民党・公明党・保守系の議員の反対で否決となりました。以下、審議の要旨をお知らせします。

**「るのバス」の改善を求める陳情**

高齢化が進む中で、足の確保はますます重要な課題となっています。市民から、現在1台で運行している「るのバス」を増やして、利用しやすく改善してほしいとの陳情が5000筆以上の署名を添えて提出されました。総務委員会の審議では、費用がかかりすぎる、「るのバス」に限った改善には反対などの意見が出され、本会議では共産党3人・民主党2人計5人の議員が賛成しましたが自民党・公明党・保守系議員の反対で否決となりました。

**介護保険制度改悪に反対する陳情**

国は要支援者を介護保険からはずし、特養の入居者を要介護3以上に限定することや、利用料を2割にすることなど検討しています。制度を後退させないよう議会として意見書をあげてほしいとの陳情です。福祉文教委員会の審議では、年寄りが増え制度を持続できるのか。親の面倒は家族や子供が見るものなどの反対意見が出されました。日本共産党は、そもそも介護保険は、家族の負担を軽くするために作られた制度であり、高齢者が安心して年を重ね、介護に携わる人も希望をもてる制度の拡充こそ必要と陳情に賛成しました。本会議でも賛成は日本共産党3人のみで、他の議員17人全員の反対で否決となりました。

**国民健康保険税値上げ条例**

国民健康保険税を率で9.94%、額では1億9100万円値上げする条例が提出されました。具体的には医療分・支援金・介護分の所得割と平等割（一人当たり）を引き上げ、資産割を2分の1に引き下げる内容です。今後、広域化に向けてさらに値上げになることが懸念されます。日本共産党市議団は、高い国保税が払えないために病気になっても医者に行くことを差し控え、病気を悪化させるようなことがあってはならないと値上げに反対しました。共産党以外の議員全員の賛成で値上げが決まりました。

\*○=賛成、●=反対、—=議長 会派名は12月現在 敬称略

会派		案	特定秘密保護法案の廃案を求める意見書	国民健康保険値上げ	介護保険制度改悪に反対する陳情	「るのバス」の改善を求める陳情	おけるミゾコイ保護に関する陳情	深沢川砂防工事に
自民党志清会	市倉 理男		●	○	●	●	●	●
	町田 匡志		●	○	●	●	●	●
	澤井 敏和		●	○	●	●	●	●
	子籠 敏人		●	○	●	●	●	●
	細谷 功		●	○	●	●	●	●
	堀江 武史		—	—	—	—	—	—
	中嶋 博幸		●	○	●	●	●	●
	村野 栄一		●	○	●	●	●	●
	天野 正昭		●	○	●	●	●	●
自民党	村木 英幸		●	○	●	●	●	●
	奥秋 利郎		●	○	●	●	●	●
政和会	合川 哲夫		○	○	●	●	●	●
	野村 正夫		○	○	●	●	●	●
公明党	松原 敏雄		●	○	●	●	●	●
	田中千代子		●	○	●	●	●	●
	増崎 敏博		●	○	●	●	●	●
民主党	清水 晃		○	○	●	○	○	○
	中村のりひと		○	○	●	○	○	○
共産党本	戸沢 弘征		○	●	○	○	○	○
	山根トミ江		○	●	○	○	○	○
	たばたあずみ		○	●	○	○	○	○

**特定秘密保護法案の廃案を求める意見書**

安倍政権が特定秘密保護法案を成立させようとしていることに対して、国民の知る権利や、言論・表現の自由を奪いかねない、戦前のような戦争をする国へ戻るのではないかなど、多くの国民の中に懸念の声が広がっています。意見書に賛成した保守系の議員は、賛成討論で党派を超えて廃案にしようとして訴えました。審議の結果7人（共産党3人・民主党2人・政和会2人）の議員が意見書に賛成しましたが、自民党・公明党議員の反対で否決となりました。



# 日本共産党あきる野市議団の

日本共産党市議団は、市民の要望に応え、住みよい市をつくるための質問を、3人で分担して毎回行なっています。昨年の12月議会での一般質問の要旨をお知らせします。



## 医療・介護の 安心を求めて

国保税値上げや介護保険制度の改悪など、削られようとする医療・介護を守るため、質問しました。市は、国保税の値上げはやむを得ないとの姿勢でした。山根議員は、多摩26市中24位の繰入金を増やし、値上げを中止するよう訴えました。介護については、国の見直し案制定を待つ具体的な検討をするという市に、サービスを後退させないように努力を求めました。

## 市営住宅の跡地 利用について

折立の市営住宅跡地利用に、災害時の一時避難所にするなど、住民の声を生かすよう求めました。市は、地元の要望・地域特性を踏まえた対応をとると答え、山根議員の訴えが実りました。

## 市営住宅建設 学童の安全確保を

小学校に隣接する草花公園住宅の建設が始まります。通学路の安全確保対策を万全にするよう求め、質問しました。市は、登校時は大型車での搬入を避けること、下校時は交通警備員3名を配置し、万全の体制をとると答えました。

山根とみえ議員

## 土砂災害 対策は

土砂災害について、これまでの対応と、避難勧告や避難場所などについて質問しました。避難について自治会・町内会任せの市に対し、たばた議員は、特別警戒区域にかかっている避難所の問題を指摘、さらに山間部などでの避難訓練に市の支援を求めました。

## 五日市憲法草案 未来に生かせ

いま注目を集めている五日市憲法草案を、市をあげて研究・周知していくよう求め、質問しました。市は、研究・周知の努力をすとしたが、研究職員の配置はできないと答弁。たばた議員は、五日市憲法草案は世界に誇る貴重な財産、未来に生かす努力をせよと訴えました。

## ひとり親世帯に 平等な支援を

結婚歴の有無でひとり親が差別されることがあってはなりません。市の積極的な支援策を求め、質問しました。市は、他市の例にならい、結婚歴のないひとり親家庭にも、結婚歴のあるひとり親家庭同様に、保育費・就園奨励金などの補助を行なう方向で検討していると答えました。

たばたあずみ議員

秋川駅や東秋留駅のホームには屋根が一部しかついていません。JRに対する市の態度を問いました。市は、増便や乗り継ぎの改善、駅ホームの屋根設置などについてJRに要望しており、JRも順次整備を進めるとしているとして答えました。

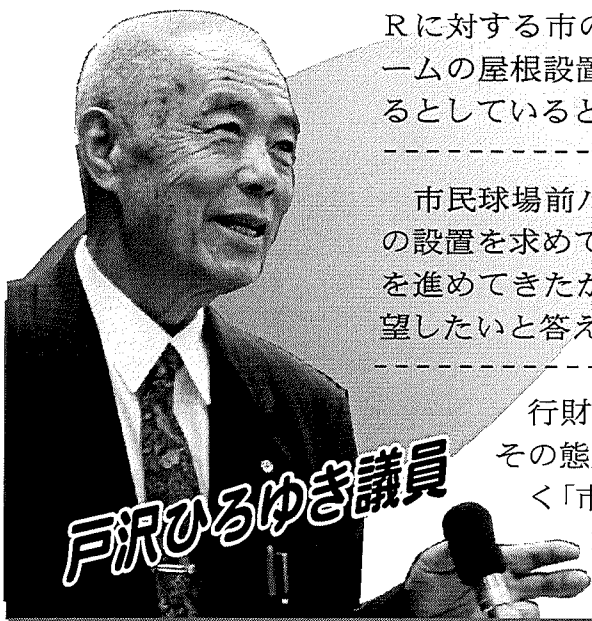
## 駅ホームに 屋根の設置を

市民球場前バス停をはじめ、広い道路沿いのバス停に屋根やベンチの設置を求めて質問しました。市は、様々な補助金を活用して屋根設置を進めてきたが、これからは、補助制度を研究しつつ、バス事業者に要望したいと答えました。

## バス停にも 屋根の設置を

行財政改革を唱えながら、自分の退職金は守っている市長。その態度を、市民目線で問いました。市長は、個人としてではなく「市長」という職に与えられる報酬であり、削減する考えはないと答えました。

## 市長の退職金 どうする？



戸沢ひろゆき議員

## 法律相談

1月30日(木)、2月27日(木) 各13時半～15時 要予約。市議団までご連絡下さい。